

イワナの稚魚の放流

上虻川ホタルの郷が中心となり、資源保全活動の一環として毎年地元保育園児を招待し、川の浅瀬に入っの放流会を行いました。地域のおじいさんおばあさんが見守るなか川に降りた園児たちは、活動組織のおじいさん達から稚魚の入ったバケツをもらおうと、ゆっくりと大事に放流し、稚魚でいっぱいとなった川を見て興奮しながら話す姿が可愛らしかったです。この川では昔、数多くのイワナがいたと地域住民の方々から聞き、組織の活動が地域資源の保全と住民や園児たちとの繋がりができる良い機会となりました。その一環にお手伝いでき、微笑ましくも充実した活動となりました。



内容	潟上市東保育園の園児達と川にイワナの稚魚を放流しました	
期間	6月22日	
場所	新薬町内の川の浅瀬	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	地元の保全活動組織「上虻川ホタルの郷」が毎年実施している活動のお手伝いをしてきました	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	10%/20% 10%/20% 10%/20% 10%/20% 10%/20%
	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化	
今後の課題	お手伝いではなく、改良区側から計画・実施するような体制をつくる	

